

がん検診精度管理支援事業の概要

1 事業の趣旨

がん登録情報を活用し、モデル的に市町のがん検診の精度や実施状況等を分析し、その結果を基に市町に助言等を行うことにより、市町のがん検診の精度管理に資するものである。4年間モデル事業として実施し、昨年度が最終年度であった。

2 実施方法

希望市町からがん検診に関する情報の提供を受け、当該がん検診に関する情報とがん登録情報との突合作業を実施する。当該がん検診の感度、特異度等を集計し、その結果を市町にフィードバックする。

3 事業実施結果

昨年度は、実施希望のあった4市町の大腸がん検診に関する情報とがん登録情報を突合した。実施結果は下表のとおりであり、感度、特異度、陽性反応的中度については、概ね妥当な数値であることが確認できた。

感度：がんの罹患が検診でどのくらい把握されているのかの割合

特異度：がんに罹患していない対象者が検診で陰性と判定される割合

陽性反応的中度：検診で陽性と判定された者のうち、どのくらい真にがんに罹患していたかの割合

年度	がん種	対象市町	対象人数	感度	特異度	陽性反応的中度
令和元年度	大腸がん	4	24,908	86.8%	94.5%	4.6%

4 今後の予定

市町が独自にがん登録情報を用いたがん検診の精度管理が行えるよう、本モデル事業で蓄積したノウハウを活用していきたい。